

事業者名等	とれたて食楽部、Honey!ハニー!!	自治体名	静岡県袋井市	分野	介護予防・高齢者生活支援
-------	---------------------	------	--------	----	--------------

取組タイトル	「食」でつながり体も心もまちも元気に！通いの場×移動販売
--------	------------------------------

WEBサイト	https://toretate-c.com https://www.facebook.com/fukuroihoneyhoney/
--------	---

【背景・課題認識】

平成28年に市内の高齢者を対象に実施した「生活と意識に関する調査」では、食料品や日用品の買い物で不便や不安を感じることに、「近くにお店がない」「自分で車の運転ができない」「歩いて買い物に行くのが大変」「交通の便が悪い」などの意見が多くを占めた。

【経緯】

上記のような状況に問題意識を持ったとれたて食楽部と「Honey!ハニー!!」店長が、乗用車での試行後、移動販売体制を構築し平成30年から本格スタート。協議体での地域課題の意見交換、サロン参加者等から買い物困難に対する課題が挙がっていたことから、地域の役員や2層SC等がマッチングし、通いの場の終了後に訪問できるように調整した。

【取組内容】

地産地消、安心安全がモットーの「とれたて食楽部」では、移動の足がない・遠くへの運転が不安な高齢者等のため平成30年から移動販売をスタート。「とれたて食楽部」からの委託により運転と販売を行うレストランの「Honey!ハニー!!」は、市内の公会堂やコミュニティセンターでの介護予防体操や居場所等の住民主体の通いの場等の開催にあわせて訪問し、地元的新鲜野菜やレストランの惣菜等を販売。ケアマネや本人の希望により、個人宅やサービス付き高齢者向け住宅にも訪問している。

取組概要



【利用者の変化】

<生活状態の変化> お店まで距離が遠い、体力的にお店まで行くことが難しいなどの悩みを抱える方が近所で気軽に買い物ができるようになった
 <心身の状況や生きがいの変化> 移動販売の利用者どうしや販売スタッフとの交流、通いの場への参加により、日常生活の張り合いや生きがいにつながった
 <社会的役割の変化> (個別ケース参照) 支援が必要だった人が役割を持ち、家族や社会を支える側になった
 個別ケース①【要支援2・一人暮らしの女性】移動販売利用前：別居の息子が買い物したり、食事を持ってきていた。

→移動販売利用開始後：従前の息子の支援に加え、移動販売で買い物をして自分の欲しいものを買ったり、息子のために料理をするようになった。

個別ケース②【要支援1・一人暮らしの女性】お寺住まいで、法事や檀家に関することを生業としている。免許返納、車は処分し県外在住の弟の訪問(月1回)や檀家からのお裾分け等の支援を受けていた。→近所の通いの場に来る移動販売を知り日常生活での買い物利用。→法事用の仏花をとれたて倶楽部で販売していることに気づいたケアマネジャーが仏花をリクエストしたことから個人宅の訪問に切り替わった。注文数の変動が大きく、夏場は日持ちしないため訪問回数を増やすなど、イレギュラーなリクエストであっても柔軟に対応している。

訪問箇所(令和2年3月)	数
①通いの場(居場所・サロン・介護予防体操【概ね週1回】)	18
②市主催の介護予防教室【月2回】	5
③個人宅【週1回】	19
④サービス付高齢者向け住宅【週1回】	2
合計	44

概ね「午前中～午後：通いの場、介護予防教室 → 午後～夕方：サービス付き高齢者住宅、個人宅」のサイクルで週5日市内各所をまわっている。

- ・運転と販売は20代～40代のレストランスタッフが行う。
- ・利用者と若者との世代間交流の貴重な機会でもある。
- ・通いの場や介護予防教室の場合は、その場に参加しない人のために終了時間の少し前から訪問しており、利用のしやすさにも配慮している。